

第3回岡谷新校再編実施計画懇話会

日時：令和6年9月30日（月）
午後6時から午後7時30分
会場：おかや総合福祉センター3階
コンベンションホール

次第

1 開 会

2 県教育委員会挨拶

3 会議事項

(1) 「第2回岡谷新校再編実施計画懇話会」まとめ

(2) 講演「地域と連携した探究学習で魅力的な高校をつくる」

講師：株式会社オーナー ディレクター 菅野 定行 先生

(3) 質疑応答、意見交換（グループワーク）

4 その他

次回の予定

【日時】 令和6年11月5日（火） 午後6時～午後7時30分

【場所】 おかや福祉総合センター 2階 大会議室

【内容】 目指す学校像と育てたい生徒像についての意見交換

5 閉 会

岡谷新校（仮称）再編実施計画懇話会 構成員名簿

	区分	氏名	所属等
1	自治体	早出 一真	岡谷市長
2		宮坂 享	岡谷市教育長（座長）
3	産業界	木下 敏彦	岡谷商工会議所 副会頭
4		山田 昌義	（有）ニシキ精機 代表取締役社長
5	学識 経験者	広瀬 啓雄	公立諏訪東京理科大学 副学長
6		岩間 英明	松本大学人間健康学部スポーツ健康学科 教授
7		坪谷ニューエル郁子	東京インターナショナルスクール 理事長
8	地域	遠藤 美千子	（株）エー・トゥー・ゼット 代表取締役社長
9		太田 博久	（株）太田屋 代表取締役社長
10		笠原 新太郎	笠原書店 代表取締役社長
11		竹花 顕宏	諏訪地域振興局 局長
12	同窓会	山本 美保子	岡谷東高等学校同窓会 会長
13		林 秀徳	岡谷南高等学校同窓会 副会長
14	P T A	田口 あゆみ	岡谷東高等学校 P T A 会長
15		共田 武生	岡谷南高等学校 P T A 会長
16		笠原 康弘	諏訪 P T A 連合会 代表（岡谷市 P T A 連合会長）
17	小中学校 関係者	小口 貴一郎	諏訪校長会 代表（川岸小学校 校長）
18		山田 典史	諏訪校長会 代表（岡谷東部中学校 校長）
19		瀬志本 進	花田養護学校 校長
20	再編 対象校	藤森 心愛	岡谷東高等学校 生徒代表
21		荒木 俊亮	岡谷東高等学校 生徒代表
22		水野 日向	岡谷南高等学校 生徒代表
23		高田 香望	岡谷南高等学校 生徒代表
24		倉坪 崇之	岡谷東高等学校 校長
25		小宮山 健司	岡谷東高等学校 教職員
26		藤澤 雅道	岡谷南高等学校 校長
27		森澤 太平	岡谷南高等学校 教職員

事務局

岡谷東高等学校		岡谷南高等学校		高校再編推進室	
奥原 貴彦	教頭・副事務局長	藤澤 幹彦	教頭・事務局長	原 多恵子	主幹指導主事
小宮山 健司		森澤 太平		有坂 清明	主任指導主事 (担当)
中村 龍馬		松本 雄二		土橋 邦彦	主任指導主事 (副担当)
西澤 久美子		奥村 達朗			
		今井 靖			

第2回 岡谷新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

日時	令和6年5月28日(火) 午後6時～午後7時		
場所	おかや総合福祉センター(諏訪湖ハイツ) 大会議室		
出席 (敬称略)	早出一真、宮坂 享、木下 敏彦、山田 昌義、広瀬 啓雄、岩間 英明、坪谷 ニュウエル 郁子、笠原 新太郎、竹花 顕宏、山本 美保子、林 秀徳、田口 あゆみ、共田 武生、笠原 康弘、小口 貴一郎、山田 典史、瀬志本 進、藤森 心愛、荒木 俊亮、水野 日向、高田 香望、倉坪 崇之、小宮山 健司、藤澤 雅道、森澤 太平(以上25名)		
欠席 (敬称略)	遠藤 美千子、太田 博久(以上2名)	傍聴	9名
事務局	岡谷南高校	藤澤教頭(事務局長)、森澤教諭、松本教諭、奥村教諭、今井教諭	
	岡谷東高校	奥原教頭(副事務局長)、小宮山教諭、中村教諭、西澤教諭	
	県教育委員会	原主幹指導主事、土橋主任指導主事、有坂主任指導主事	
当日資料	次第、構成員名簿、第1回懇話会まとめ(案)、校地検討会議について、両校発表資料、配席図、アンケート用紙		

会議事項

- (1) 第1回岡谷新校再編実施計画懇話会まとめ (2) 校地検討会議について
 (3) 両校生徒の皆さんによる学校・学びの紹介
 *当初予定されていた期待される学校像に係る意見交換は大雨の影響と参加者の安全確保を考慮してアンケートに代替し、終了時間を30分早めることとした。

構成員から出された主な質問・意見(要旨)

会議事項について

- (1) 第1回岡谷新校再編実施計画懇話会まとめ
 資料1ページについて事務局(県教委)から説明。質問、意見なし。
- (2) 校地検討会議について
 資料2ページについて事務局(県教委)から説明。質問、意見なし。
- (3) 両校生徒の皆さんによる学校・学びの紹介
- 岡谷東高校
 資料3～14ページを基に学校全般・学び・部活動・生徒会活動について発表。
【質疑】
- ・PTSについて、挙げられたこと以外に合意形成されたことはあるか。また、地域の方に参加してもらいたいと考えたことはあるか。
 →文化祭の一般公開が1日だったものが2日間になったこと。地域の方々の意見も取り入れたいと思ったこともある。(生徒回答)
 - ・ICTを用いた授業では先生方はどのように関わっているのか。
 →生徒から出された意見を全体に共有して、生徒の主体的な学びをサポートしている。(生徒回答)
- 岡谷南高校
 資料15～25ページを基に、学校全般・学び・行事・部活動・新校に望む生徒の声について発表。
【質疑】
- ・両校の生徒に聞きたい。統合後の新校に、これだけは残してもらいたいというものはあるか。
 →南高の伝統である強歩大会や地域に根差した取組、進学にむけたコース(岡谷南生徒回答)
 →制服、「ひろがれわたし」の取組、生徒と先生や生徒同士の仲の良い雰囲気、特徴的な部活動(岡谷東生徒回答)
 - ・高校の授業のあり方やこういう学びをしたいという希望があれば教えてほしい。
 →コースに分かれて特化はしているが、自分の好きな科目だけでなく、熱心に取り組める科目や、苦手だけど頑張っている人も結構いる。その意味でコースに分かれていることは良いと感じている。(生徒回答)

アンケートに記載された主な意見・感想

【岡谷東高校の発表への感想】

- ・楽しい学校生活や心の底から学校が好きな様子、学校に誇りを持っている様子が伝わってきた。
- ・母校愛にあふれる思いが伝わってきた。

【岡谷南高校の発表への感想】

- ・まじめなわかりやすい発表であり、真摯な姿勢が伝わってきた。
- ・文武両道の校風や伝統を大切にして頑張っている様子が伝わってきた。

【岡谷新校の学校像、育てたい生徒像】

- ・地域との結びつきが強く、多様なニーズに応えることができる学校。
- ・地元や他地域からも選ばれる、偏差値による輪切りで選択されることのない特色ある普通科高校。
- ・凡庸な特徴のない学校にしてはならない。
- ・生徒の希望に沿う科目選択や、先生方の熱いサポート体制など多様性のある学校。
- ・入学後に様々な面でその生徒に合った教育が受けられ、潜在力を大きく伸ばすことができる学校。
- ・障がいのある子どもが共に学ぶ、インクルーシブな学校。
- ・何か一つ目標を持って頑張った経験のある生徒を育ててほしい。
- ・地域を大切に思う生徒、地域に貢献できる生徒を育ててほしい。
- ・地域を愛し、地域に誇りを持ち、いずれ地元に戻ってきて活躍する生徒を育てたい。
- ・地域資源を用いて地域と連携して学び、それを自分の武器にして進路を実現できるとよい。

その他

【次回】

日時：令和6年7月中下旬を予定 午後6時～午後7時30分

会場：未定

内容：有識者による講演 を予定

講演 「地域と連携した探究学習で魅力的な高校をつくる」

株式会社オーナー ディレクター 菅野 定行 先生

講師紹介



株式会社オーナー
ディレクター

菅野定行

Sadayuki Kanno

宮城県仙台市出身

1986年 宮城県公立学校教員採用
(高校・国語科)

「指導よりも支援」という方針のもと、
仙台南高校、仙台第一高校などの進学校
にて生徒の進路選択や部活動を支援。
部活動ではフェンシング部顧問として全国大会
に出場

2014年4月～2016年3月

気仙沼高校 教頭
・SGH事業の申請を担当・採択

2016年4月～2018年3月

白石高校七ヶ宿校 副校長
・地域と連携した学びを構築

2018年4月～2023年3月

石巻西高校 校長 (5年間)

文部科学省「地域との協働による高等学校教育
改革推進事業」(2019～21年度)、三菱みらい
育成財団補助事業(2022年度～)など、地域探
究活動の推進や地域連携、学校魅力化、ICT教
材導入による教員の働き方改革などを推進。

2023年4月 株式会社オーナー 入社

・教員時代の経験を活かした研修を担当
・事業全般に対するアドバイザー

【講演メモ】

地域と連携した探究学習で魅力的な高校をつくる

岡谷新校再編計画懇話会

2024年9月30日(月)

株式会社オーナー 菅野定行

1

1. いまなぜ「探究」が求められるのか
2. 事例紹介 ～石巻西高等学校の取り組み～
3. 「探究」がつなぐ学校と地域
4. キャリア（進路）実現と「探究」活動
5. ワークショップ
6. まとめ

「岡谷新校」づくりのヒントになるお話ができればと思います。

1.

Owner

1. いまなぜ「探究」が求められるのか ～社会の変化～

Owner

いまなぜ「探究」が求められるのか

事例紹介 ～石巻西高等学校の取り組み～

「探究」がつなぐ学校と地域

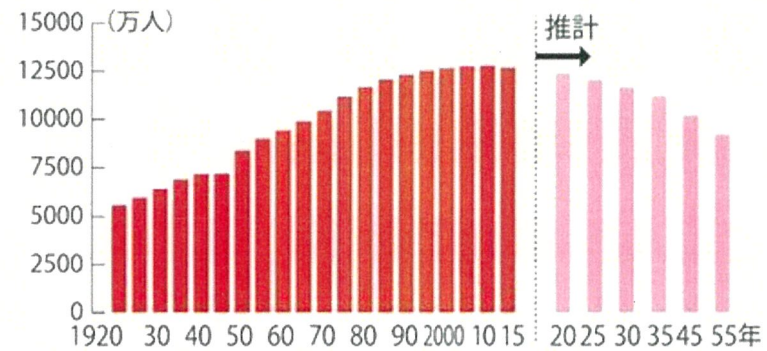
キャリア（進路）実現と「探究」活動

ワークショップ

まとめ

1

日本の人口の移り変わり^{うつりか}と今後の推計^{すいけい}



・子どもの数も年々減少しています

・年間出生者数

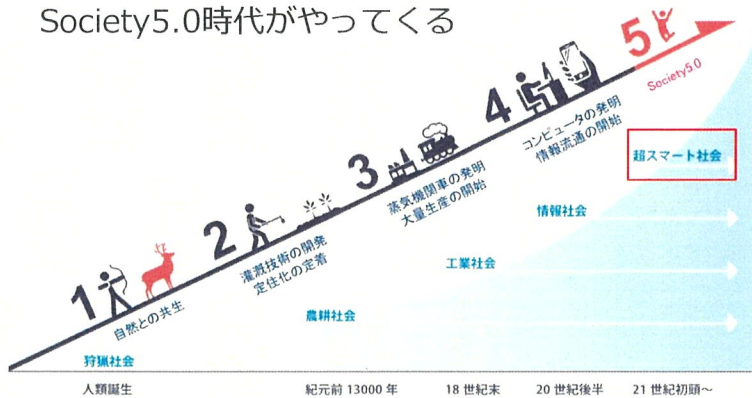
- 2000年 1190,000人
- 2007年 1080,000人
- 2024年 750,000人

出典：毎日新聞 ニュース知りたいインジャー <https://mainichi.jp/maisho/articles/20170328/kei/00s/00s/004000c>

5

6

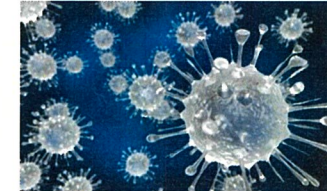
Society5.0時代がやってくる



Society5.0
 AI等の技術を産業や社会に取り入れることで実現する新たな社会

狩猟社会 Society 1.0
 農耕社会 Society 2.0
 工業社会 Society 3.0
 情報社会 Society 4.0
 に続く5番目の社会。

出典：経団連SDGs <https://www.keidanrensds.com/society-5-0-jp>



次のような課題もあります

- 気候変動
- 食糧問題
- 感染症
- エネルギー問題
- 多様性の実現

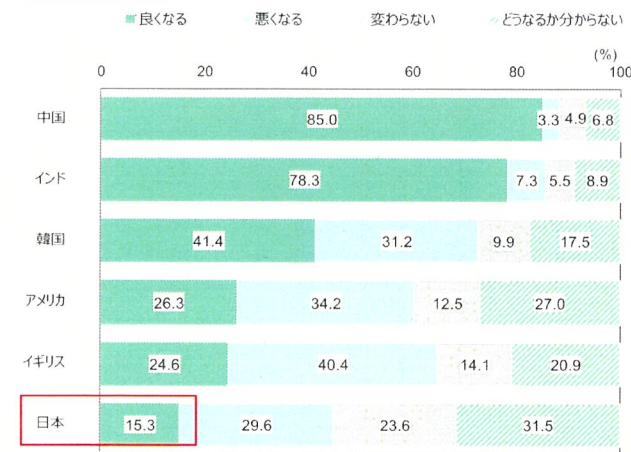
VUCAという言葉も耳にします

Volatility 変動性 Uncertainty 不確実性 Complexity 複雑性 Ambiguity 曖昧性の頭文字をとった言葉で、社会変化が激しく予測が困難な時代のことをいいます

また、次のような予測も話題となりました

- 2011年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう (ニューヨーク・タイムズ紙) キャシー・デビッドソン氏 (デューク大学) 2011年
- 20年後までに人類の仕事の約50%が、人工知能または機械によって代替され、消滅する (論文「雇用の未来」) マイケル・A・オズボーン氏 (オックスフォード大学) 2013年

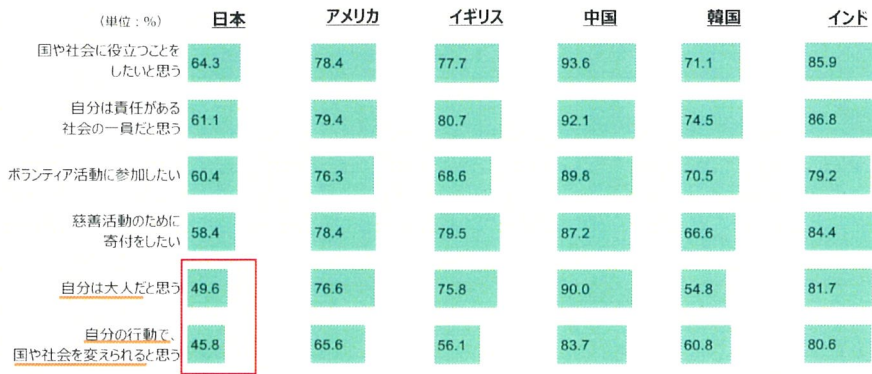
質問7：自国の将来についてどう思いますか。(単一回答、各国n=1,000)



日本財団「18歳意識調査」2024年版より

*「自国の将来」はよくなる、日本は15%

質問11：自身と社会の関わりについて、以下の項目に同意しますか。（単一回答、各国n=1,000）
※「同意」+「どちらかといえば同意」の回答率を、日本の高い順に掲載



* 「自分は大人」「自分が社会を変える」の肯定的回答、日本は最下位

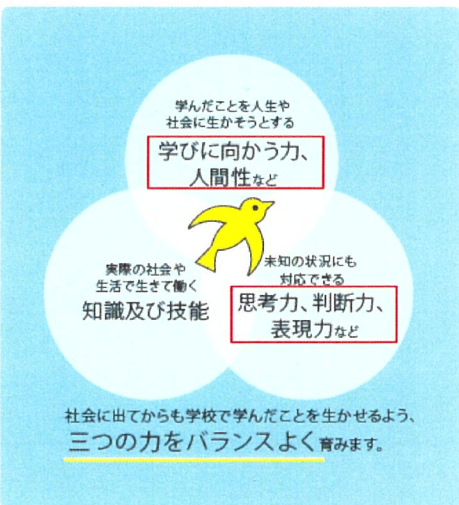
出典：日本財団「18歳意識調査」2024年4月 https://www.nipponfoundation.or.jp/app/uploads/2024/03/new_pr_20240403_03.pdf

質問15：もしあなたが全ての「職種」や「業種」から仕事を選べるとしたら、どれを選びますか。3つまで選択してください。（複数回答3つまで）※各国上位10項目と、「特になし」のスコアを掲載

日本 (n=1,000)	アメリカ (n=1,000)	イギリス (n=1,000)	中国 (n=1,000)	韓国 (n=1,000)	インド (n=1,000)
1位 芸能・音楽・映画 16.7%	1位 デザイン・美術・写真 21.1%	1位 芸能・音楽・映画 17.2%	1位 教師・講師・保育士 15.3%	1位 芸能・音楽・映画 19.1%	1位 ソフトウェア技術・開発 21.6%
2位 医師・看護師 13.0%	2位 芸能・音楽・映画 19.6%	2位 教師・講師・保育士 15.8%	2位 ソフトウェア技術・開発 15.1%	2位 デザイン・美術・写真 15.4%	2位 芸能・音楽・映画 15.0%
3位 教師・講師・保育士 12.5%	3位 医師・看護師 17.9%	3位 医師・看護師 14.6%	2位 デザイン・美術・写真 15.1%	3位 デザイン・美術・写真 (SNS・ブログ) 13.9%	3位 デザイン・美術・写真 14.6%
4位 国や自治体の職員 (公務員) 8.8%	4位 デザイン・美術・写真 (SNS・ブログ) 13.1%	4位 裁判官・弁護士・検察官 12.8%	4位 医師・看護師 13.2%	4位 医師・看護師 13.0%	4位 医師・看護師 14.5%
5位 飲食・宿泊 8.5%	5位 不動産 12.0%	5位 ソフトウェア技術・開発 12.3%	5位 学術研究者 12.4%	5位 ソフトウェア技術・開発 12.4%	5位 教師・講師・保育士 14.0%
6位 デザイン・美術・写真 8.4%	6位 ソフトウェア技術・開発 11.6%	6位 不動産 12.1%	6位 国や自治体の職員 (公務員) 11.5%	6位 獣医師・動物看護師・ブリーダー 11.0%	6位 銀行・保険・証券 13.0%
7位 観光 7.7%	7位 設計・建築・建設 10.6%	7位 デザイン・美術・写真 11.8%	7位 警察・消防・保安 11.0%	7位 国や自治体の職員 (公務員) 10.4%	7位 調査・データ分析 12.5%
8位 ソフトウェア技術・開発 7.0%	8位 教師・講師・保育士 10.5%	8位 デザイン・美術・写真 (SNS・ブログ) 11.1%	8位 裁判官・弁護士・検察官 10.9%	8位 裁判官・弁護士・検察官 10.0%	8位 教師・講師・保育士 11.7%
9位 銀行・保険・証券 6.8%	9位 裁判官・弁護士・検察官 10.5%	9位 設計・建築・建設 8.8%	9位 軍人 (自衛官) 10.3%	9位 会計士・税理士 9.4%	9位 宇宙技術・開発 11.3%
10位 デザイン・美術・写真 (SNS・ブログ) 5.8%	10位 メディア・ジャーナリスト 8.8%	10位 メディア・ジャーナリスト 8.3%	10位 芸能・音楽・映画 10.2%	10位 教師・講師・保育士 9.3%	10位 観光 11.1%
特になし 20.3%	特になし 3.2%	特になし 2.0%	特になし 0.5%	特になし 2.9%	特になし 1.4%

* 就きたい仕事「特になし」との回答、日本は20%と突出

出典：日本財団「18歳意識調査」2024年4月 https://www.nipponfoundation.or.jp/app/uploads/2024/03/new_pr_20240403_03.pdf

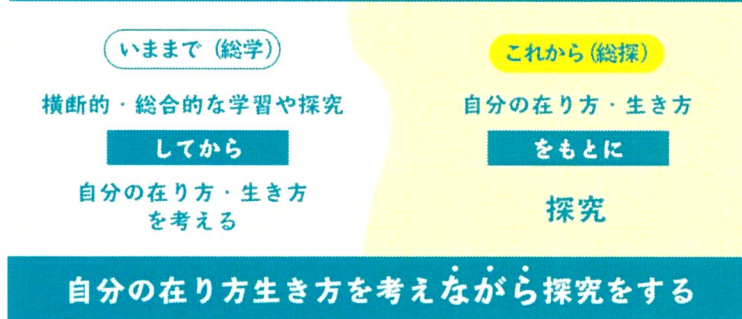


出典：文部科学省 平成29・30・31年改訂学習指導要領の趣旨・内容を分かりやすく紹介 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1383986.htm#section3

このような背景を踏まえて「学習指導要領」が改訂されました。

《改訂に込められた思い》
学校で学んだことが「生きる力」となって、これからの人生につながってほしい。
社会が変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、考え、判断して行動し、それぞれ幸せを実現してほしい。
そして、明るい未来を、共に創っていききたい。（一部修正）

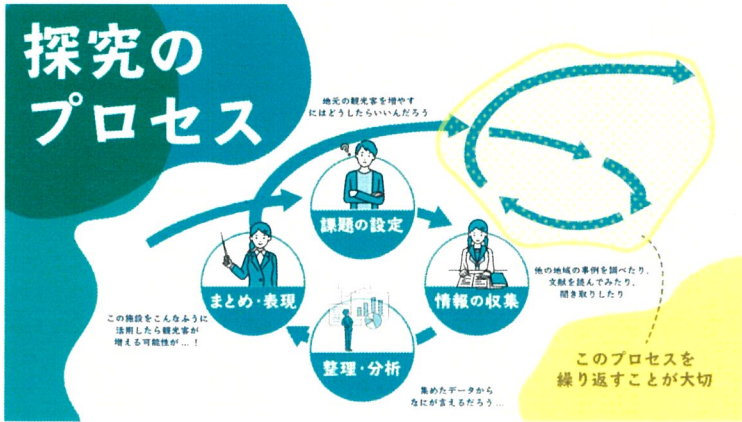
総学と総探のちがいは？



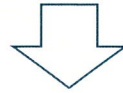
2024年度から高等学校の学びに総合的な探究の時間（総探）が登場

今までの「総学」との違いは、
自己の生き方を見すえた学習活動という点です

出典：Smart Teachers .net <https://smart-teachers.net/index.php/2021/03/28/138/>



各校では「課題の設定」に苦労しています
(社会・地域理解不足)



社会や地域に目を向け、さまざまな体験を経て自分軸のある課題設定が可能になるはず

いまなぜ「探究」が求められるのか
事例紹介 ～石巻西高等学校の取り組み～
「探究」がつなく学校と地域
キャリア（進路）実現と「探究」活動
ワークショップ
まとめ

2

出典：Smart Teachers .net <https://smart-teachers.net/index.php/2021/03/28/138/>

昨年3月まで勤務していた石巻西高等学校での

地方の普通科高校における学校づくり
地域と連携した探究的活動

を紹介します

石巻市はこんなまち

北上川の河口に位置する風光明媚な都市です。
藩政時代には「奥州最大の米の集積港」として栄えました。
漁業のまちとしても栄え、かつお・いわし・さばなど水産資源の宝庫です。

平成17年4月には地域の1市6町が合併し、新・石巻市としてスタートしました。
石巻圏域2市1町の人口は約17.7万人(令和6年)。(諏訪地域は約19万人(令和4年))

平成23年3月東北地方太平洋沖地震発生。震度6強の揺れと巨大津波は多くの人命を奪う大災害となりましたが、全国の支援を受け復旧・発展へ向けて歩みだしています。

出典：石巻市公式サイト 市の概要 <https://www.city.ishinomaki.lg.jp/cont/10151000/1500/1500.html>

石巻西高校に赴任して感じたこと

● 学校・生徒の印象

学校：創立約40年の比較的新しい学校 地域の中堅校

生徒：◎真面目で穏やか

△現状に満足し失敗を避ける傾向

⇒ 自己肯定感、自尊感情を高めたい

● 学校が置かれた状況

△地域最初の学級減対象校 2018年度：5学級から4学級に

△遠くない将来、**学校の存続**を考える必要が…

⇒ 学校の魅力化を進めなければ…

文部科学省「地域協働事業」への申請（2019.1）

● 「震災を乗り越え持続可能な未来を創造する人材育成プログラム」

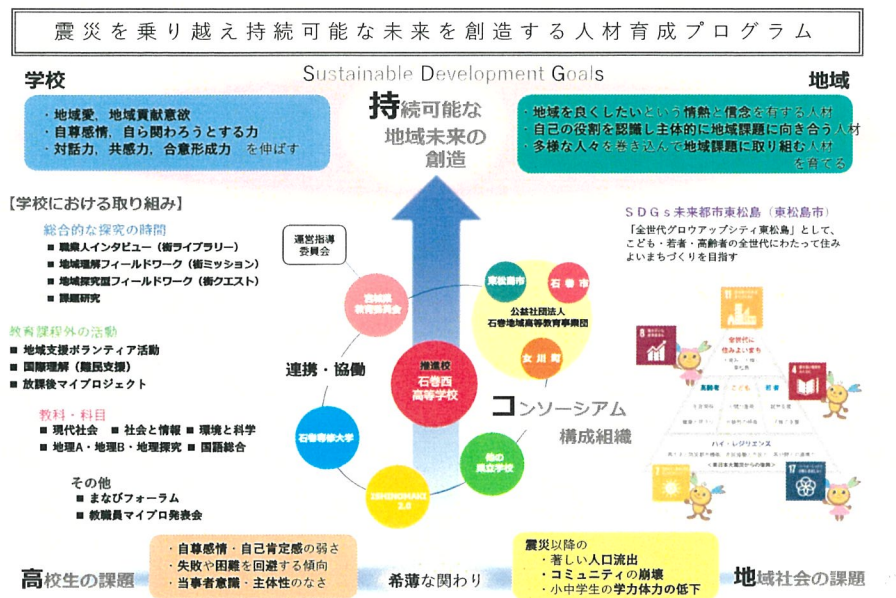
● 身につけさせたい力

- ・ **地域愛、地域貢献意欲**
- ・ 自尊感情、自ら関わろうとする力
- ・ 対話力、共感力、合意形成力

● 育成したい人材

- ・ **地域をよくしたいという情熱と信念**を有する人材
- ・ 自己の役割を認識し主体的に地域課題に向き合う人材
- ・ 多様な人々を巻き込んで地域課題に取り組む人材

次ページ：申請に用いた「ビジュアル資料」



学校の教育計画とも関連づけました

（配布資料P. ● 「石巻西高校教育計画」もご覧ください）

● スローガン「自由と創造」（校長と生徒会執行部生徒とで策定）

● 育成する6つの力

- ① **地域・社会貢献意欲**
- ② 自己調整力・自己決定力
- ③ 学び続ける力
- ④ 達成感・自尊感情
- ⑤ 対話力・共感力・合意形成力
- ⑥ 他者と関わる力

● 学びの土壌づくり（教育活動を支える環境整備）

- ① 安心安全の土壌
- ② 多様性の土壌
- ③ 対話の土壌

石巻西高校の特徴的な教育活動をいくつか紹介します

- 内容
地元社会人を講師として招いた交流会
インターンシップ事業所の業務を理解
- ねらい
社会人から話を聞き職業観を身に付ける
異世代間の交流から多様な考え方を
理解・共有する力をはぐくむ
- 連携協力者 ISHINOMAKI2.0



- 内容
課題解決型インターンシップ
地域の事業所から課題をいただき、
体験を通して課題の解決を模索し、
アイデアを事業所に発表
- ねらい
高校の学びと地域課題を結びつける
地域の課題への意識を養う
対話力・傾聴力・積極性・協調性といった
社会人として必要な力を認識する
- 連携協力者 ISHINOMAKI2.0
東松島市ほか30以上の地域事業所



- 内容
生徒が設定した問いに基づく
フィールドワーク
- ねらい
自身の興味関心と地域との
つながりを発見する
課題解決に向けて協働的に
行動する姿勢を養う
- 連携協力者
石巻市 東松島市
ISHINOMAKI2.0 ほか



- 内容
生徒の探究活動の進捗について
地域社会人と対話を行う
- ねらい
生徒が探究テーマを明確にできる
今後の活動に見通しを持てる
- 連携協力者
石巻専修大学 石巻市 東松島市
ISHINOMAKI2.0 (ほか)



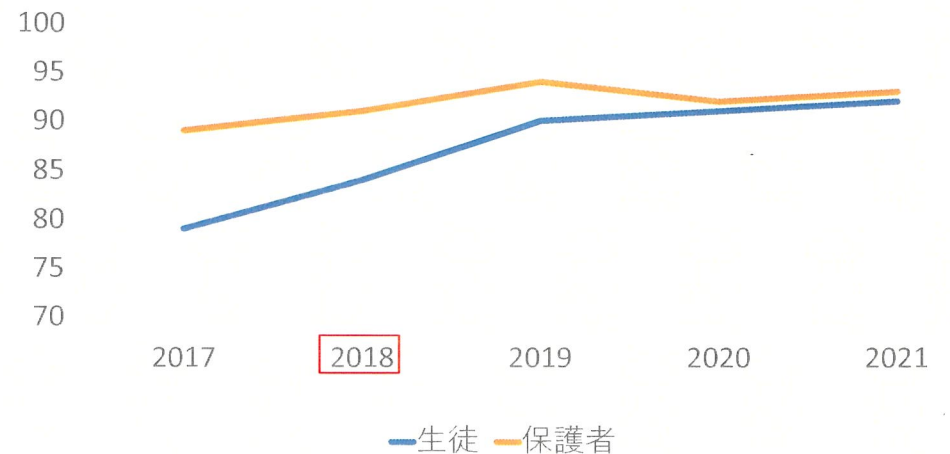
- 職員が自身の探究活動を生徒に発表
テーマは子育て、趣味、仕事…
⇒ 身近な人の発表に興味を持つ (生徒)
担任の人柄を知る良い機会 (生徒)
自身が取り組むことで指導に効果 (職員)
- 教員自身が探究する楽しさを実感
初年度は教員の抵抗あり校長も教頭も発表
⇒ やってみると「意外と楽しい」との声!



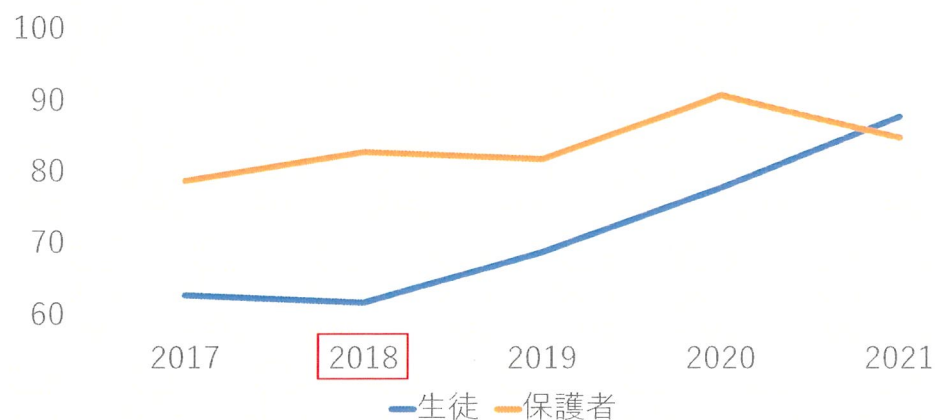
- 担任と生徒との探究活動の取り組み・進捗を話題とする面談
⇒ 質の高い二者面談ができた (担任)
本音の対話ができた (担任) ⇒ **生徒のSOSをキャッチ**できた!
- 活動の振り返りや評価活動の重要性を再認識できた
- **クラスの間関係づくり**や**担任との関係づくり**に好影響

探究活動は**プロセスが大切**であり、成果物の完成度にこだわる必要はさほどないことを改めて認識しました

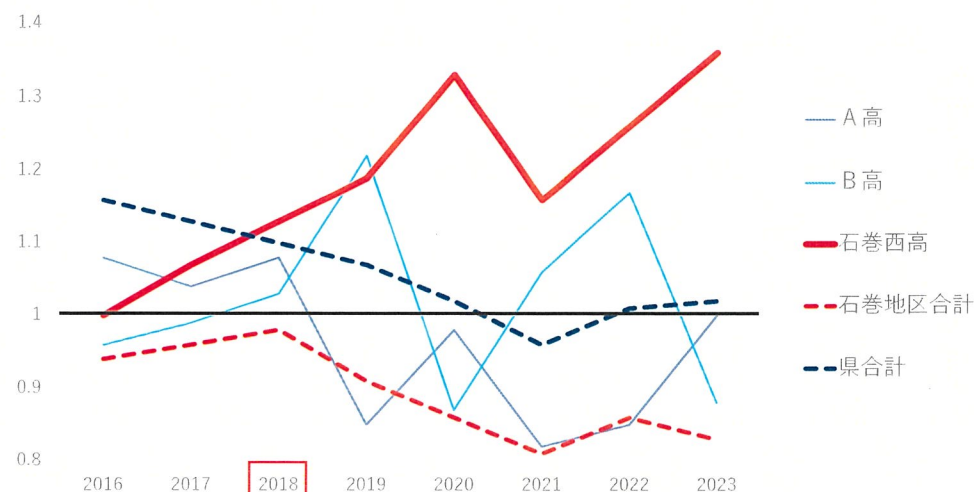
「学校生活は充実している」肯定的評価



「地域に根ざした特色ある学校づくり」肯定的評価



31



32

- 震災後多くの有能な人材が石巻地域に移住
⇒ ◎多様な支援をいただきました
- ◎NPO法人「ISHINOMAKI2.0」の協力
H29から実施していた社会人インタビュー「ミライブラリー」を「街ライブラリー」へと発展
- ◎石巻専修大学「石巻高等教育事業団」の実績
⇒ 地域連携コンソーシアム策定の軸に
- ◎東松島市・石巻市 SDGs未来都市に選定

33

- 予算の獲得
旅費（講師派遣、職員県外視察）、謝金…
地域NPO職員を連携コーディネーターとして再委託
- 学校づくりの方向性
国の指定事業による学校づくりの合意形成（学校内外で）
⇒ 地域住民や中学生の理解も深まりました 探究を学べる西高
- 「探究活動」推進の根拠
なぜ「探究」を学ぶの？ ⇒ 教職員が明確に言語化できるように

34

△進学実績は顕著に上がったわけではありません。

ただ、「**総合型**」で**国公立大学を目指す**生徒は増えました

△多くの学校が目指す「課題解決力」「深い学び」等も、

目立って効果があったどうかはわかりません。

⇒ そもそもこれらの「非認知能力」は数値化が難しいものです

◎誇れる成果としては、**不登校の減少**が挙げられます。

(宮城県は不登校率全国ワーストの常連です)

◎学校の**特色化・魅力化**は進んだと感じています

⇒ 「石巻西といえば『探究』ですよね」の声を多数寄せられました。

いまなぜ「探究」が求められるのか

事例紹介 ～石巻西高等学校の取り組み～

「探究」がつなく学校と地域

キャリア（進路）実現と「探究」活動

ワークショップ

まとめ

3

これからの学びには学校と社会・地域との連携が必要です
それを可能にするのが「探究的な学び」です

東北地方の二つの地域連携の取り組みを紹介いたします

①新庄・最上ジモト大学

②気仙沼マイプロジェクト・アワード



最上地域

山形県内陸部に位置する。
人口約7万人。

最上地域は早いペースで人口減少が進んでおり、若年層の県外流出が深刻な問題となっています。地域に高等教育機関がなく、進学者は地域を出なければなりません。

学生は地元の企業や資源を知らず、地元で暮らすイメージを抱けないまま卒業していきました。

そこで、**地元を深く理解し、地域の大人たちと積極的に対話し協働**することで、未来を描くための道しるべを見つけてほしいと、

2017年に新庄・最上ジモト大学が開校しました。



- 山形県最上地域、宮城県気仙沼市ともに人口減少、医療資源不足、高齢化といった課題を抱えています。
- 地域に高等教育機関がないため、若者の多くが地域から流出するという課題もあります。

学校だけ、行政だけでは解決できない課題に、関係者が目線を合わせ、協働的に取り組むことで解決の糸口を見出す様子が見えてきます。

私も石巻西高の校長時代、自治体や大学の職員、NPOの若者と対話しながら学校づくりを進めました。

楽しい経験でしたし、自分も含め教員の視野が広がりました。

いまなぜ「探究」が求められるのか
事例紹介 ～石巻西高等学校の取り組み～
「探究」がつかなく学校と地域
キャリア（進路）実現と「探究」活動
ワークショップ
まとめ

4

「探究」の価値について、ご理解いただけただけでしょうかでは、各高校で「探究」は進んでいるのか？

⇒ 実は、なかなか苦戦しています。

昨年度、探究活動に関する講演依頼を何件いただきました

- 県教育委員会 ⇒ 全校の探究担当者に「総合的な探究の時間」のプログラムづくりについて話をしてほしい
- ◇◇県校長会 ⇒ 全校の校長に「探究」を学校運営にどう位置づけるかの話をしてほしい

課題があるから依頼もあるのでしょう

特に学力中上位層の学校で「探究」が進んでいない印象があります

要因：受験学力の向上と「探究」活動の両立が大変！
生徒や教職員の負担が大きい

では、「探究」は大学受験の妨げになるのでしょうか？



私は **NO!** だと考えます

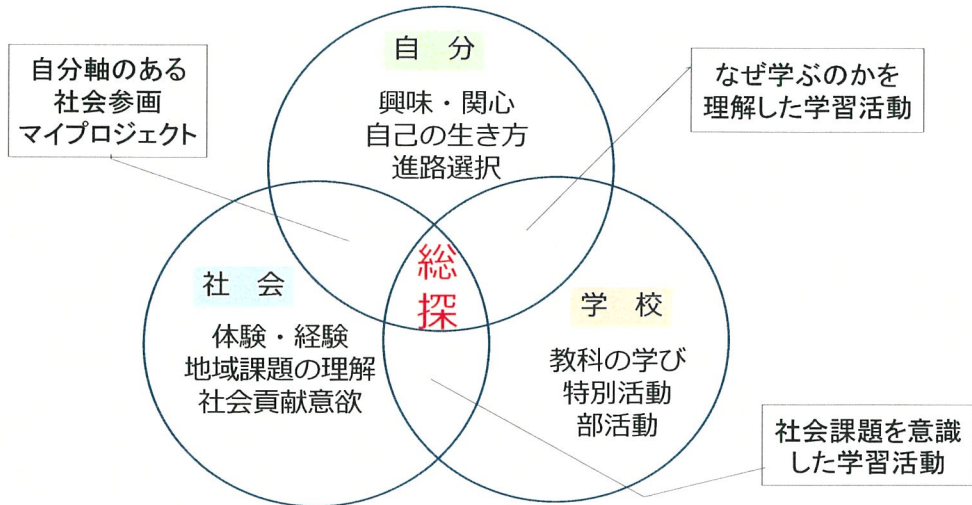
「探究」と教科の学びをつなぐことで真の学力が獲得できるからです

「探究」に取り組むことで身につくもの

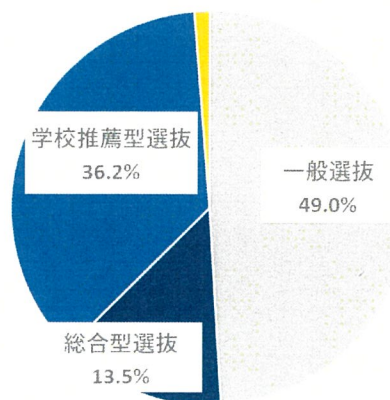
- 学びに向かう姿勢
- 主体的に学ぶ意欲
- 習得した知識・技能を活用する力
- 単なる暗記では身につかない思考力・判断力・表現力
- 高校の学びが社会・地域の課題とつながっているという実感
- 自己の在り方・生き方を考える姿勢

これらの力は教室の学びだけで身につけるのは、容易ではありません
地域の力を借りて獲得できるものです

自分・学校・社会をつなぐ「総探」の学び



令和4年度入試別大学入学者数割合



大学入試も変わりつつあります
「学力試験」を中心とする一般選抜で入学する割合は50%を切りました。

- * 学校推薦型選抜
出願時に学校長の推薦書類が必要な入試方式、「指定校制」など。
- * 総合型選抜
志願者の能力や大学で学ぶ適性があるかを総合的に判定する入試方法。

学校推薦型・総合型選抜で問われる力は「探究」で身につくものも多い

「探究」で入試を行う大学も増えています

● 石巻専修大学 総合型選抜・探究型

本学では石巻をフィールドとして学びたいと考える学生を歓迎します。そして、学力偏差値だけでは測ることの難しい、学ぶ意欲や社会貢献意欲といった志を有する学生がこの地域とともに成長することを期待して、探究型の入学者選抜制度を創設しました。

《選抜方法》

- 1.書類審査（探究学習報告書、探究学習活動所見用紙、調査書）
- 2.探究学習に関わるプレゼンテーション(プレゼンテーション10分、質疑応答10分)

※各選考の評価の比重は「書類審査：プレゼンテーション」=1：1です

出典：石巻専修大学 入学者選抜情報 https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/admission/senbatsu/seido/admission_7.html

● 奈良女子大学 総合型選抜 探究力入試「Q」

奈良女子大学では、全学で総合型選抜を開始します。名称は探究力入試「Q」。「探究」のキュー、「question」と「quest」のQです。単に答えを出すのではなく、自分で問いを立ててそれを解き明かしていく。そうすることが好きなひとをこの入試は歓迎します。教員も学生もともに探究をする者として同じ地平に立ち、互いの知的関心を尊重しながら進んでいく。それが大学です。そこでは、日頃から瑞々しい問いを抱き、考え、答えをだし、さらにそれを疑う力が大切です。

■ 選抜方法

二段階選抜

第1次選考：書類審査

第2次選考：口述試験・小論文・プレゼンテーションや実験など

出典：奈良女子大学 総合型選抜探究力入試「Q」 <https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/qnyusi/index.html>

● 桜美林大学 探究入試 Spiral

“探究”という新しい学び方は、社会に出たあともずっと必要です。そして未来のあたりまえになります。高校時代の探究の学びを表現する機会をつくるために、この入試方式を新設しました。

出典：桜美林大学 探究入試Spiral <https://admissions.obirin.ac.jp/spiral/>

入試方式	①プレゼンテーション型	②ディスカッション型	③コンテスト活用型
内容	探究学習の成果を基にした課題報告会を行います。	テーマを決って学生同士、参加し、授業の発展を促す発表を行います。	探究活動で培った知識・技能を競い合うコンテスト形式です。
出願条件	探究学習経験、探究活動の成果報告書、調査書	探究活動の成果報告書、調査書	探究活動の成果報告書、調査書
対象学部	経済学部、法学部、文学部、教育学部、国際学部、健康学部、看護学部	経済学部、法学部、文学部、教育学部、国際学部、健康学部、看護学部	経済学部、法学部、文学部、教育学部、国際学部、健康学部、看護学部
選抜方法	①一次審査(書類審査) ②二次審査(面接)	①一次審査(書類審査) ②二次審査(面接)	①一次審査(書類審査) ②二次審査(面接)
主な出願書類	● 探究学習報告書 ● 探究活動成果報告書 ● 調査書 ● 推薦書 ● 推薦状	● 探究学習報告書 ● 探究活動成果報告書 ● 調査書 ● 推薦書 ● 推薦状	● 探究活動成果報告書 ● 調査書 ● 推薦書 ● 推薦状

グループワーク 「岡谷新校で育てたい力を考えよう」

- ファシリテーターが口火を切ります。率直な意見を、積極的に述べてください。
- 参考資料（次ページより）
 - ・ 2023 年度宮城県石巻西高等学校教育計画
 - ・ 岡谷東高校グランドデザイン
 - ・ 岡谷南高校グランドデザイン
- ワークシートにもメモ欄がありますので自由に使ってください。
- グループワーク終了後にファシリテーターにワークシートを提出してください。

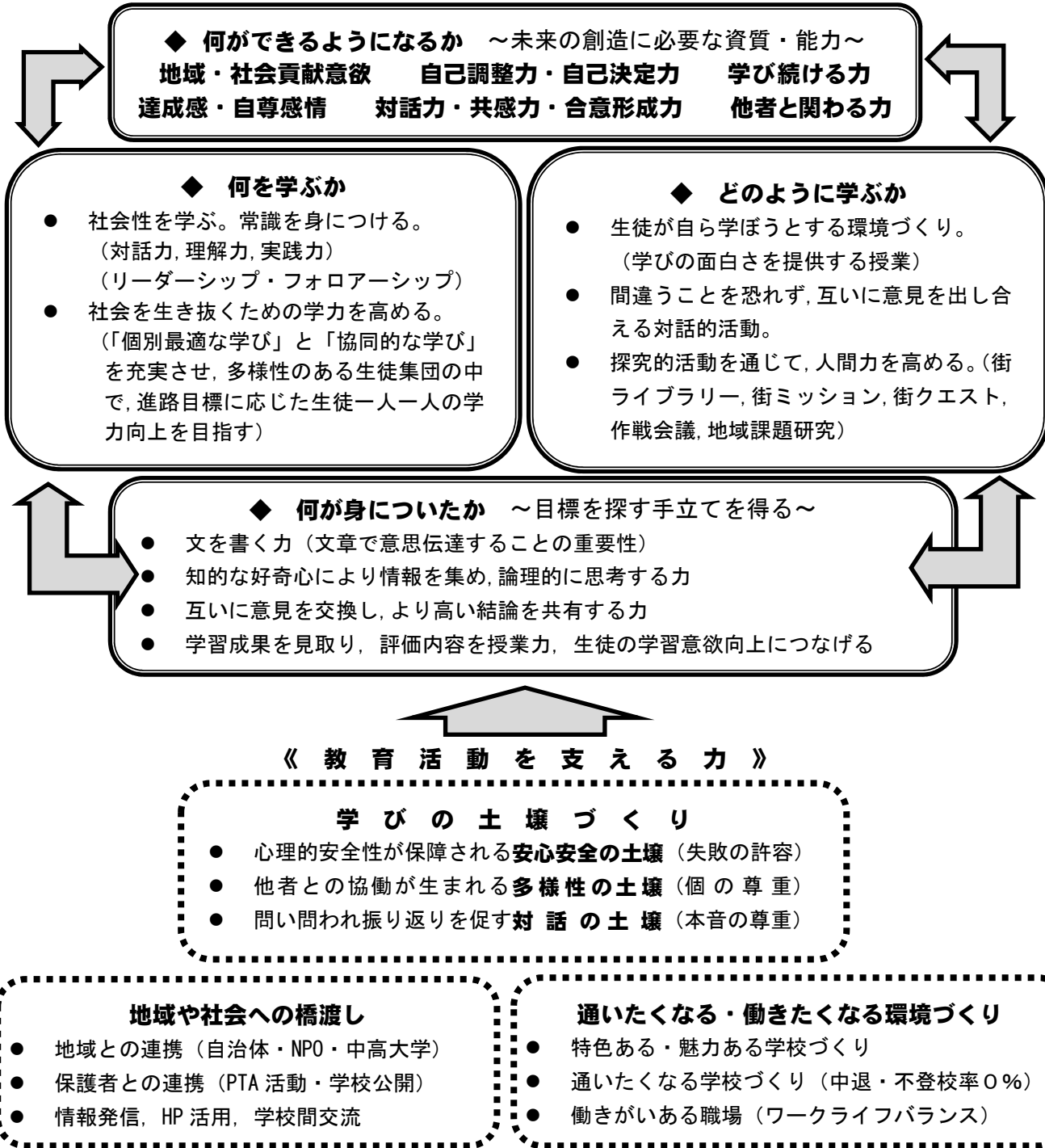
【メモ】

《校訓》 敬愛 探求 進取
 《教育目標》 高い知性と優れた徳性、そして強健な身体を持ち、国内はもとより、広く国際的にも通用する豊かな識見を備えた、新しい時代の社会に貢献する人間の育成を図る。
 《教育方針》 敬愛と協調心の育成 学力の充実と探求心の育成 公正な判断力と進取の精神の育成

《教育基本法 第1条》
 教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。

《スローガン》 自由と創造 主体的に判断・行動する力を備え、これからの地域や社会を形成し未来を創造できる、心身ともに健康な市民へと成長する。

《今年度重点目標》



『ひろがれ わたし』 『かがやけ 自分色』 『みつかれ 新たな未来』

【生徒育成方針】

- 自他を尊重し、協働して社会課題を解決できる力を育みます。
- 自ら学び続ける姿勢で、可能性を切り拓く行動力を育成します。
- 自律の精神を重んじながら、他者と共生していく姿勢を養います。

【教育課程編成・実施方針】

○ 鍛えた力をもとに行動へ移す場の充実を図ります。

- ・ 生徒会活動・クラブ活動の活性化
- ・ PTS(※)…生徒自ら学校づくりに参加
※ 保護者(P)・教職員(T)・生徒(S)の三者による、より良い学校づくりを進める協議会
- ・ 地域との交流、地域事業への参加
- ・ 多様な進路への対応

○ 他者との関わり合いを大事にした学びの一層の充実を図ります。

- ・ 協働・共生へ向けた関係性づくり
- ・ 仲間と議論し考察する、協働的な学習
- ・ 学年・学校の枠を超えたグループワーク

○ 探究し続ける姿勢から将来の可能性を切り拓く学びを進めます。

- ・ 2つのコース制
(教養フロンティア・健康スポーツ)
- ・ 教科を横断した探究的な学び
- ・ 大学や短大との連携事業による実践的で深い学び
- ・ 地域社会の課題を考察する課題解決型学習

○ 「わかる」「できる」を実感することができる学びを実現します。

- ・ 各教科で「読解力」「伝える力」を身につける学習
- ・ ICT機器を活用し、個に応じ、自ら学び進める授業
- ・ 生徒の自己評価も含めた、授業のフィードバック

【生徒募集方針】

- 意欲を持って、前向きな姿勢で何事にも取り組もうとする人。
- 自ら考え、他者との学び・協働を大事にしようとする人。
- 将来を見据えて、自身の可能性を切り拓こうと主体的に行動しようとする人。



長野県岡谷南高等学校グランドデザイン

教育目標 常に進歩のため問題をもってことにつく
常に成功の可能性を確信してことに当たる
常に協調融和の精神をもってことを行う



Plan

■知徳体の調和に基づく健全な思考力・判断力

育てたい

■自ら課題を発見・追究し、提案する力

■明瞭な説明力・プレゼンテーション力

資質・能力

■地域社会の振興・発展に寄与する力

■他者と協力・連携してやり遂げる力

Do 学びの体系と実施内容

■各教科・科目

朝の学年の時間： 基礎基本の定着 探究学習

授業： 1コマ 65分 1学年 33単位

基礎基本の定着 思考力・判断力・表現力の伸長 受験学力の養成

1年次 クラス別の共通履修

2・3年次 各自の適性と進路希望に応じた講座別授業

<人文社会系・国際教養系・自然科学系>

放課後・夏期セミナー： 受験学力の充実

■総合的な探究の時間「こまくさ探究 TIME」

キャリア探究： ようこそ先輩 1日大学 大学見学会 etc

課題探究： 一人一提案 1年次：校内課題、2年次：社会的課題

■特別活動 南高祭 諏訪縦断強歩大会 人権・平和学習 etc

協力・創造する力 強靱な身体と精神力 人権感覚

■クラブ活動（運動系 18 文化系 12） 全国大会出場・優勝、リビック選手輩出

自ら学ぶ力 チャレンジする力 豊かな人間性と社会性

■地域協働・異年齢交流活動（生徒会 クラブ 有志）

高校生まちづくり会議 福祉施設訪問活動 小学校放課後子ども教室 etc

Action
改善

Check 評価

■学校自己評価

■生徒による授業
評価・自己評価

■保護者による
評価

■学校評議員による
評価

■地域社会からの
評価



生徒募集方針

1. 向上心をもって積極的に学習活動に取り組み、より高い学力を身につけたいと考えている生徒
2. 学習活動とともに、生徒会活動、部活動、ボランティア活動等にも主体的に取り組み、自身の社会性を向上させたいと考えている生徒
3. 労を惜しまず自ら進んで行動するとともに、他者と力を合わせて物事に取り組むことができる生徒